

令和3年9月朝礼

夏休みが終わりました。皆さんの元気そうな顔を見て、私もうれしく思います。

夏休みが始まる前の朝礼では、オリンピックのお話をしました。あま市からも、アーチェリーとフェンシングの選手が出場し、活躍しました。将来、この秋竹小学校からもオリンピックに出場する選手が出るかもしれませんね。楽しみにしています。

今、日本では、オリンピックに引き続き、パラリンピックが行われています。パラリンピックって皆さん、知っていますか？パラリンピックは、様々な障害のある選手が、自分のもっている力を発揮し、様々な競技で活躍する大会です。足が不自由で、車いすを使っている選手もいます。手や足がなくて、手や足の代わりにする器具を着けて走ったり跳んだり泳いだりする競技に出場する選手もいます。目や耳が不自由な選手もいますし、自分の体を自由に動かすのが難しい選手もいます。先日、テレビで、肩から先の両手がない水泳の選手のことについて紹介されていました。その方は、日頃はパソコンを使った仕事をされているのですが、手が使えないので、足でキーボードをたたいて仕事をしているそうです。でも、その方は、とても明るい表情で、自分の出場する水泳競技への抱負を語っていたのが印象に残っています。

皆さん、想像してください。例えば皆さんが、自分の足がないとしたとき、運動会で徒競走にどうやって出場しようかと考えるのが一つの例になると思います。体が不自由なのでできないとあきらめるのではなく、「どうしたらできるか」を一生懸命考え、厳しい練習をしてきた選手が競い合う大会がパラリンピックです。体が不自由なので、いつもの生活をするにも不便なことがたくさんあると思います。4年生から6年生の皆さんは、7月に福祉実践教室に参加したので、分かることがたくさんあると思います。

困難なことがあっても、あきらめずに努力と工夫をすることの大切さ、一人一人みんなちがうということを改めて確認をし、お互いのよさを認め合うことの大切さを、私たちはパラリンピックから学んでいきたいと思っています。私たちには誰でも、苦手なことがあると思いますが、あきらめずに努力する姿勢をお互いに認め合い、励まし合うことを大切にしていきたいと思っています。

最後に、皆さんの健康についてお話しします。新型コロナウイルスの感染状況がなかなかよくなりません。皆さんの中にも、不安に思っている人が多くいると思います。感染を予防するように、皆さんには今までも手洗いをしたり消毒をしたりするなど、気を付けていただいています。皆さん自身を守るために、自分ができることは何か、自分がしなければならないことは何かをよく考えて、注意できることは注意してください。

皆さんが健康で安心して学校生活を送ることができるように、お互いに気を付けていきたいと思っています。